

沖縄県における神経芽細胞腫

小 渡 有 明

(那 覇 保 健 所)

沖縄県は、60余の島々からなり、沖縄振興特別措置法による指定離島は57で、面積は全県の45%を占めている。うち、有人離島は42で人口は全県の15%である。

出生数は、昭和56年、19,744 人で、出生率は17.7で、全国13.0をはるかに上廻り、全国1位であるが、昭和50年以降、年々減少傾向にある。

0～14才の死亡数は、239人で、男子141人、女子98人であり、総死亡の4.5%にあたる。0～14才の死亡率は、人口万対20である。0～14才の死因を年代別にみると、1～4才は、悪性新生物が第3位であり、5～9才は、悪性新生物が第4位であり、10～14才は悪性新生物が第2位である。

小児慢性特定疾患の医療を受けている患児数は年々増加し、昭和57年の患児数は401人で、そのうち、悪性新生物の患児数は63人で、小児慢性特定疾患児の15.7%を占めている。

離島における神経芽細胞腫マス・スクリーニングについて

離島の神経芽細胞腫の実態把握とスクリーニング体制の検討をするにあたり、那覇保健所管内離島を対象に実施、検討することにした。

那覇保健所管轄市町村は20市町村で、うち、8村は離島である。

那覇保健所管内市町村の出生数は、5,065人(昭和56年)で、出生率18.8、うち離島は、186人で、出生率11.7である。

まず、第一段階として、久米島(仲里村・具志川村)における生後6カ月～12カ月の乳児を対象に、保健婦による乳児相談、乳児健診の場を利用して、採尿し、その尿を保健所へ送付してもらい、検索は保健所で実施すべく計画し、実施に移している。

採尿にあたっては、保健婦が母親に指導することになっている。尿の輸送、検査法、母親への教育について検討することになっている。

沖縄県における神経芽細胞腫患児について

沖縄県小児慢性特定疾患台帳から神経芽細胞腫の診断のついた児をリストアップした。昭和47年から昭和56年の10年間で30名の神経芽細胞腫の患児が小児慢性特定疾患として医療を受けている。30名の中、現在健在児8名、不明4名、死亡が18名である。死亡18名の死亡時の年令をみると、乳児1名、1才児3名、2才児5名、3才児4名、4才児4名、16才1名で、72%が2～4才の幼児である。

神経芽細胞腫患児30名を地域別でみると、南部地区10名、那覇市 4 名、中部地区13名、宮古地区 2 名、八重山地区 1 名である。尚、北部地区は全く発生をみていない。

年 令 別 死 亡 順 位

(昭和56年)

	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
	全国	沖縄	全国	沖縄	全国	沖縄	全国	沖縄	全国	沖縄
0才	出産時の外傷	先天異常	先天異常	出産時の外傷	不慮の事故	未熟児	肺炎・気管支炎	敗血症	未熟児	心疾患
1 1/4才	不慮の事故	先天異常	先天異常	不慮の事故	悪性新生物	悪性新生物	肺炎・気管支炎	肺炎・気管支炎	非炎症性中枢神経疾患	非炎症性中枢神経疾患
5 5/9才	不慮の事故	不慮の事故	悪性新生物	先天異常	先天異常	心疾患	非炎症性中枢神経疾患	悪性新生物	肺炎・気管支炎	
10 10/14才	不慮の事故	不慮の事故	悪性新生物	悪性新生物	心疾患	心疾患	先天異常		自殺	

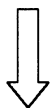
小 児 慢 性 特 定 疾 患 と 小 児 が ん

	48年	49年	50年	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年
総 数	58	102	173	251	304	343	361	361	380	401
小児がん	36	31	33	52	73	64	67	53	45	63
(率)	62.1	30.4	19.1	20.7	24.0	18.7	18.6	14.9	11.8	15.7



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



沖縄県は、60余の島々からなり、沖縄振興特別措置法による指定離島は57で、面積は全県の45%を占めている。うち、有人離島は42で人口は全県の15%である。

出生数は、昭和56年、19,744人で、出生率は17.7で全国13.0をはるかに上回り、全国1位であるが、昭和50年以降、年々減少傾向にある。

0～14才の死亡数は、239人で、男子141人、女子98人であり、総死亡の4.5%にあたる。0～14才の死亡率は、人口万対20である。0～14才の死因を年代別にみると、1～4才は、悪性新生物が第3位であり、5～9才は、悪性新生物が第4位であり、10～14才は悪性新生物が第2位である。

小児慢性特定疾患の医療を受けている患児数は年々増加し、昭和57年の患児数は401人で、そのうち、悪性新生物の患児数は63人で、小児慢性特定疾患患児の15.7%を占めている。